



HOT
で

マルホンの

スマイル

巻頭
特集

大学病院勤務から在宅医への転職



小川クリニック
院長
小川展二 先生

23年間勤務していた大学病院を退職し高崎市東部の矢中町で開業しました。地域医療に貢献する上で在宅医療は重要です。平成24年10月に無床診療所を開業し3年半が経過しました。個人の診療所では対応するには限界があります、「緩和ケア診療所いっぽ」の小笠原一夫先生が立ち上げた高崎地域緩和ケアネットワークで知合った訪問看護ステーション、ケアマネジャー、訪問薬剤師など多職種と連携を取る事が出来たため通常の外来診療と平行して訪問診療を継続しています。現在までに担当した在宅患者数は259人で慢性疾患215人、癌患者44人、看取らせて頂いた患者様は75人でした。家族の介護が困難で施設に入所する患者様も含まれています。

自宅で過ごすためには様々な障害があります、その中でも呼吸苦を緩和することは非常に重要です。慢性呼吸器疾患やうっ血性心不全の患者様以外にも癌終末期の患者様には酸素が必要と成ります。終末期の患者様に

とって病院に入院しないと出来ない治療は少なく、様々なサービスを利用することで自宅での治療継続は可能です。日々変化する患者様の病状に対して迅速に対応することが必要と成ります。365日24時間の対応を目指して訪問診療を継続する中でどんな時間帯でも嫌がることなく対応してくれる「マルホン」さんは私の強い味方です。急性期病院では長期の入院は出来ません、次から次へと患者様を受け入れる反面、治療が終了すれば自宅もしくは受け入れ可能な施設への移動が必要と成ります。大学病院勤務中は退院までの治療をしていました、今は退院後の患者様を受け入れる立場として診療をしています。困っている患者様やその家族の頼れる味方になればと思い在宅医として働いています。



小川クリニック様(高崎市矢中町 312-9)



いきいき

HOTさん

群馬県
玉村町

吉田 瑞穂 さん (78)

私が在宅酸素を使い始めてもうすぐ4年になります。ここ数年、何度か息苦しさを感じることがあり、受診した呼吸器科の専門の先生から肺気腫と診断されました。

それでもいろいろな場所へ出かけることが大好きで、家族や仲間と一緒にいろいろなところへ旅行に行きました。



奥様と出かけた藤岡での写真

若い頃からたばこを吸っていて(50年くらい!)先生からは何度もたばこをやめるように言われていました。なかなか簡単にはたばこをやめることができませんでしたが、禁煙外来へ通院するようになってようやく禁煙することができました。

ただ禁煙したからと言ってすぐに肺気腫が治るわけでもなく、かかりつけのひらが脳神経外科の平賀先生から在宅酸素療法を勧められました。

「まだ早いかもしれないけど」ということでしたが、以前から肺の病気を診断されていたので在宅酸素療法を始めることにしました。

当時は自宅の近くの畑でトマトやキュウリを作っていたので、できるだけ動きやすい

ものが良いと、先生に相談したところ液体酸素を紹介されました。

あとから分かったことですが、一般的に在宅酸素療法では電気で酸素を作る機械を自宅に置いてそれとは別に移動用の酸素ボンベを用意するシステムの方が多くそうですが、私にはこちらの液体酸素を使うシステムの方があっていました。液体酸素は作業などで外出する時に自分で移動用の容器に酸素を充填できるので(その際、大きい音がでることに最初は戸惑いましたが)私は気に入っています。また、電気を使わない仕組みで酸素を吸入できるので、災害時などの停電に強いことも良いと思います。

今年になってから肺炎になってしまい2回ほど入院してしまいました。退院してから現在は週に2回デイケアに通って、理学療法士の方にリハビリをしてもらっています。

今は畑での作業や外出することを少し休んでいます。また旅行でいろいろな場所へ出かけていきたいと思います。



吉田様がご利用の液体酸素システム「ヘリオス」

イラストでわかる！ “日常動作のコツ”



7車の乗降

りり

ご自身で運転する場合 編

この地域では、どこに行くにも車を利用することが多いと思います。車の乗り降りは息苦しさを感じる動作が多いですが、下記をご覧くださいと比較的楽に行えます。患者さまが“運転する場合”と“しない場合”の2回に分けてご案内します。今回は“運転する場合”です。

車の乗り方

■ボンベを後ろに乗せる場合



①後部座席と運転席の間にボンベを安定させて置く



②カニューラを運転席の背にかける



③運転席のドアを開けカニューラをつけてから運転席に乗りこむ

かがむ動作は
口すぼめ呼吸で

■ボンベを助手席に乗せる場合



①助手席の足元にボンベを安定させて置く



②慌てずに運転席側にまわり運転席のドアを開けカニューラをつけてから乗りこむ

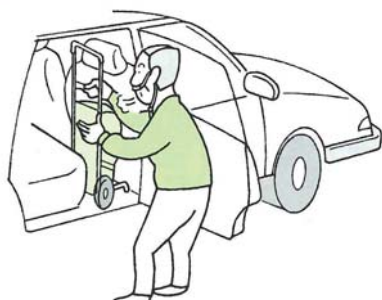


自分が先に乗ってからボンベを助手席に乗せる(座った状態で持ち上げる)

ゆっくりと
大きな呼吸で

車の降り方

■ボンベを後ろに乗せた場合



①運転席から降り、カニューラを外す
②後部座席のドアを開けカニューラをつける
③ボンベを下ろす

■ボンベを助手席に乗せた場合

車を駐めたら、
まず呼吸を整え
ましょう



①運転席から降り、カニューラを外す
②慌てずに助手席側にまわりカニューラをつける
③ボンベを下ろす

出典:「楽にできる!日常生活動作のコツ」帝人ファーマ(株)

HOTの安全情報



充填をランプでお知らせ

液酸に15年ぶりの新製品 Hotaru(ほたる)が出ました！



新製品「ほたる」

■従来品「ヘリオス」からの改良点

ヘリオス(従来品)	ほたる(新製品)
●1L/分以上は同調のみ	→ どの流量でも連続・同調を切替可能
●最高 4L/分まで	→ 最高 6L/分まで
●移充填時に力がかかる	→ レバー操作で力いらず
●満充填がわかりにくい	→ ランプでお知らせ(“ほたる”の由来)
●専用の2本カニューラ	→ 普通のカニューラが使える

6L/分を連続で流せるようにするため、大きさなど若干デメリットもありますが、多くの点で使いやすくなっています。

興味がある方、お試しになりたい方がいらっしゃいましたら主治医の先生または担当までご連絡ください。

Vol.27 頑張ってます！ HOTな社員



はしもと よしき
梶本 嘉紀

血液型：O型

好きな食べ物：蕎麦・焼肉

苦手な食べ物：はんぺん

欲しいもの：車

こんにちは。梶本嘉紀と申します。23歳、栃木県足利市の出身です。私はマルホンに入社して1年が経ちました。現在は太田営業所でポンベの配送、機械の点検、そして諸先輩に教わりながら営業の仕事を始めています。

趣味は入社前からサッカー観戦で、深夜に中継している海外サッカーが僕の楽しみです。入社当初から新しい趣味を作りたいと考えていて、知識は無いのですが今年は釣りにチャレンジしてみたいと思っています。詳しく

の方がいらっしゃれば色々教えて頂ければ嬉しいです。

入社してから多くの患者様にお会いし不慣れな事が多いなか、アドバイスや嬉しいお言葉を頂いて仕事を頑張っています。皆様が安心して生活を送れるよう、明るく親切に対応させて頂きますので気になる事や不安な点がありましたらお声かけ下さい。

編集後記

◆この原稿を書いている途中で、九州で大きい地震のニュースが入ってきました。5年前の東北地震のような大きな被害がでないように祈っています。(オカ)

◆先日、地元のマラソン大会に参加しました。自分より年上のランナーが元気に軽快に走っ

ている姿を見て、自分も大いに刺激を受け、頑張ろうと思いました。(なお)

◆暖かい日が増えて過ごしやすくなってきましたね。外出もしやすい季節になると思いますので必要の際には声をかけて下さい。(クロ)

第27号

株式会社マルホン「HOTですまいる」編集委員会 発行責任者：鈴木武
2016年 5月1日発行 前橋市問屋町2-16-11 TEL. 027-210-7222